

## はじめに

---



本市では、平成19年2月に、「静岡市子ども読書活動推進計画」（第1次計画）を策定し、子どもが自然に読書に親しめる読書環境を整備するための施策を家庭、学校、地域等が連携・協力して総合的に推進してきました。今回、第1次計画での成果と課題を踏まえ、計画の見直しを図り、「第2次静岡市子ども読書活動推進計画」を策定し、より一層の施策の充実を目指します。

1冊の本との出会いが、人生をより豊かなものにしていくことがあります。言葉を学び、思考力や表現力を高め、世界の多種多様な生き方や思想を学び、新しい知識を得る。

空想の世界を楽しみ、豊かな感性や想像する力を育む。他者の心の痛みを知り、人と関わって生きるためのコミュニケーション能力を培う。それは、人生をより深く生きる力を身につける上で、欠くことのできないものです。読書がもたらす様々な効用を考えると、幼児期における読書習慣の形成・確立はもちろんのこと、その後も子どもたちが自主的に読書に親しむことができるよう、周りの大人や関係機関が連携・協力して読書環境を整備充実していくことが非常に大切です。

今後も、子どもたちがよりよい環境で読書に親しむことができるよう努めてまいります。厳しい時が続く中であっても、子どもに夢を持てる本を1冊でも多く読んでもらいたいとの願いをこめてこの計画を策定しましたので、これからも市民の皆様をはじめ、各関係機関の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

最後に、この計画策定にあたりご協力をいただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

平成24年11月

静岡市長 田 辺 信 宏